

# プレゼンテーションアワー 2024年度 活動報告書

文責:坪内秀人

## 1. Introduction (English Ver.)

*Presentation Hour* is a casual event with the purpose of *ideas worth sharing*, where anybody can talk about anything from their hobby to possession. The special twist of this event is that the presentations made here consist of 20 slides, 20 seconds each. It is open to all Nagoya University members free of charge, and people from different faculties can join to listen to the presenters. We aim to create a relaxed atmosphere throughout the event by preparing coffee and snacks.

*Presentation Hour* first started as a special event of *Small World Coffee Hour* in 2014, after which it became an independent project, aiming to hold an event every semester, twice a year. Our goal is to create a platform for both Japanese and international students of different backgrounds and majors, to share their ideas, research topics, and feelings. Therefore, *Presentation Hour* is held in both Japanese and English.

In FY 2024, 2 *Presentation Hour* events were held, once in summer and once in winter. Since we had to operate with fewer members overall, we are seeking ways to organize the event to accommodate the situation by reducing the number of speakers and inviting speakers from among our acquaintances. In the summer event, the speaker lineup consisted of a high school student, two *Presentation Hour* members, and an international student. The program resulted as a fruitful event, as a wide range of topics were covered, including both scientific and social topics. In the winter event, the speaker lineup consisted of two international students, past *Presentation Hours* participants, and a graduate student. Throughout this event, as many as three members joined the organizing team. The fact that alumni also took part in the event made us feel that it has become a gathering place for alumni as well.

Since we could achieve the goal to recruit new organizing members that we set last year, our goals next year are to expand the possibilities of *Presentation Hour* by collaborating with other international groups as well as trying new things to make this event more interesting to the audience.

### 1-1. Basic ideas

Our goal is to expand the knowledge and horizon of all the audience by making the place where the presenters can tell the audience about their own experience, activities, and interests and the audience can get to know those ideas. We aim to make the event where presenters and participants can interact with each other, considering the difference of their cultural background.

### 1-2. Features

- Activities are mainly conducted by students regardless of their background
- We aim to hold one event open to everyone per semester and prepare for it.
- We make sure that presenters take care of the audience who have diverse values, backgrounds, and majors.

## 2. 団体紹介(日本語版)

Presentation Hour(以下プレゼンアワーと省略)は、「Small World Coffee Hour」(以下コーヒーアワーと略)の特別企画として2014年に発足し、以来、年に2回、各学期に1回を目標にプレゼンテーションイベントとして企画・運営をする団体である。ただのプレゼンテーションではなく、20枚のスライド、それぞれが20秒と、簡潔に内容を伝えることが求められている。そして、留学生や日本人学生など多様な文化や専門をバックグラウンドとして持つ学生がアイデアを自由に共有する場所を提供することを目的としている。

2024年度は夏、そして冬の2回のプレゼンテーションアワーを開催した。全体的に少ないメンバーでの運営になったため、登壇者を減らしたり、知り合いの中から登壇者を呼んだりすることで状況に対応した開催方法を模索している。夏には、留学生、プレゼンアワーメンバー、高校生による登壇者の構成となった。理系、文系問わず幅広いテーマのトピックが取り上げられたことからとても充実した内容となった。冬には、過去のプレゼンアワーの参加者、交換留学生、大学院生といった登壇者の構成となった。この冬のイベントを通して3人の方が運営メンバーに加わっていただけた。また、同窓生も参加してくれたことから、同窓生にとどまらず集まる場所になっているように感じる。

近年課題になっていた運営メンバーの不足という課題を克服できたので、今年度は参加者にとつてより楽しいゆったりとした国際交流の場にするために工夫を凝らすとともに、他の国際交流団体と共同でイベントを主催して活動の幅を広げていきたい。

### 2-1. 理念

留学生、日本人学生を問わず、プレゼンターが自分の経験、活動や興味を発信し、オーディエンスがそうしたプレゼンターの活動や考え方を知ることで、参加者全員の知見を広げていくことを目標としている。それぞれの文化的背景を考慮した上でプレゼンターとオーディエンス、もしくはオーディエンス同士が交流を深めることができるよう心がけている。

### 2-2. 特徴

- 有志の学生が中心となって活動を行っている(学部・学年・国籍は問わない)。
- 誰でも参加できるようなオープンなイベントを1学期に1回開催できるように企画・運営を行っている。
- プrezentationerには様々な価値観、文化や専門をバックグラウンドとして持つオーディエンスに対しての配慮(言語、文化、専門知識)をしていただくことを心掛けている。

## 3. 活動紹介

### 3-1. 活動について

#### ミーティング

週に1度(毎月3~4回)の頻度でお昼休みにZoomや対面でミーティングを行い、2ヶ月弱の準備で1回のプレゼンアワーのイベントを企画している。ミーティングではプレゼンター募集のチラシ作り、プレゼンターとの顔合わせ、リハーサル、プレゼンアワー当日のスケジュール相談、担当役割決めなどを行っている。

#### 広報活動

スタッフはSNSにて、イベントの約1ヶ月前から広報活動を開始する。ポスターを作成し、プレゼンターの紹介や、リマインドを継続的に投稿する。また、事務の職員さんや先生方に協力していただき、各部局や学生が閲覧する掲示板への掲載をした。

#### 連携活動

スタッフの数が少なかったため、過去の参加者、コーヒーアワーのメンバーなどに当日の運営、司会に協力していただきました。

### 3-2. 2024年度の活動

#### 【7月 2024年度春学期プレゼンテーションアワー】 「第21回プレゼンテーションアワー～世界が広がる20秒～」

日時・場所: 7月5日(金) 17:00～19:30 @国際棟ラウンジ

参加人数: 約20人

当日の流れ:

16:00- 集合・設営  
16:45- 受付開始  
17:00- スタート  
17:15- プレゼンター1  
17:35- 休憩  
17:45- プレゼンター2  
18:05- プレゼンター3  
18:25- スタッフ募集  
18:45- プレゼンター4  
19:00- クロージング、写真撮影、交流会

Time	Presenter	Title	Language
17:00		オープニング / Opening remarks	
17:15	坪内 秀人 Hiroyuki Tsubouchi	生命とは何か？～物理学で解き明かす生命の本質～ What is Life? -From Physics-	英語 English
17:35		休憩 / Coffee Break	
17:45	イヒヨンジュ Hyunju Lee	世界を変えるための17の目標：5. ジェンダー平等を実現しよう SDGs: Gender Equality	日本語 Japanese
18:05	土居 隆之介 Ryunosuke Doi	なごやのカエルとその生態について About Frogs in Nagoya and Their Ecology	英語 English
18:25		スタッフ募集 / Staff Recruiting 休憩 / Coffee Break	
18:45	関口 心愛 Kokoa Sekiguchi	ポケモンのちょっと変わった楽しみ方 Strange Ways to Enjoy Pokémon	日本語 Japanese
19:00		クロージング / Closing remarks	

※イベントの間、写真やビデオの撮影をしております。  
映りたくないという方は受付までお伝えください。  
During the event, we are going to take a video and photo.  
If you would mind, please let us know at the reception.

#### イベント概要

国際棟ラウンジでの対面での開催となった。今回は研究の話、社会問題、高校生による身近な話、趣味と学術を絡めた発表もあったことが特徴的であった。毎回同様、各プレゼンテーション終了後、日本語または英語での補足を行ったのちQ&Aセッションへと移った。様々な所属やバックグラウンドの参加者が集まり、意見の飛び交う、温かくもとても考えさせられるようなイベントだった。

#### 実施した感想

研究に関わる話に加え、高校生が登壇し、幅広い登壇者の層であった。それに伴い高校生の参加者も見られた。そのため、Q&Aでも多くの質問がされ、ディスカッションにも繋がる機会となつた。

#### 気づき(改善点など)

1. スライドの文字化けが多く見受けられ、修正が大変だったため、pdf化したものを移すなどの工夫が必要であると感じた。
2. 司会の方に事前にサマリーを共有するなどすると、プレゼン後の言語サポートがスムーズになると感じた。

ポスター(日英)



当日の様子



登壇者と参加者の全体集合写真



プレゼン中の様子

【2024年12月 プrezentationアワー】  
「第22回プレゼンテーションアワー ～世界が広がる20秒～」

日時・場所: 12月8日(日)14:00～16:00 @国際棟ラウンジ

参加人数: 約20人

当日の流れ:

- 13:00- 集合(設営)
- 13:50- 受付開始
- 14:00- オープニング
- 14:15- プrezentation1
- 14:35- 休憩
- 14:45- プrezentation2
- 15:05- プrezentation3
- 15:25- 休憩
- 15:45- プrezentation4
- 16:00- クロージング、交流会
- 16:30- 終了、片付け

**本日のスケジュール Today's Schedule**

Time	Presenter	Title	Language
14:00		オープニング / Opening remarks	
14:15	リazarцев ドミトリー Riazantsev Dmitri	ノーベル化学賞2021：不斉有機触媒 Nobel Prize in Chemistry 2021: Asymmetric Organocatalysis	英語 English
14:35		休憩 / Coffee Break	
14:45	ゾウ カキ (喜 佳紀) Fusaei	旅行と哲学～マイナーな旅の楽しみ方 Travel and Philosophy: An Unconventional Way to Enjoy Your Journey	日本語 Japanese
15:05	トウ ウコウ (董 宇航) Dong Yuhang	僕が出会った日本の18箇 18 Views of Japan I Encountered	日本語 Japanese
15:25		休憩 / Coffee Break	
15:45	谷田 幸貴 Kohki Tanida	どうして広める価値あるアイデアなのか？どうしてアイデアが全てを変えるのか？ Why Ideas Worth Spreading? Why Ideas Change Everything?	英語 English
16:00		クロージング / Closing remarks	

※イベントの間、写真やビデオの撮影をしております。  
映りたくないという方は受付までお伝えください。  
During the event, we are going to take a video and photo.  
If you would mind, please let us know at the reception.

イベント概要

国際棟ラウンジにて開催した。今回は留学生による発表が多く、文化的多様性に富んだ会であった。参加人数こそ例年に比べ少なかったものの、かえってそれが発言しやすい雰囲気につながり、結果的には良い方向に作用した。また、比較的わかりやすいテーマが多く、積極的なディスカッションも見受けられた。

### 実施した感想

交換留学生による発表で似通ったテーマを異なる視点から紹介するプレゼンが見られ、日本人学生にとってもとても新鮮な内容であったのではないかと思う。また、専門的な内容についても分野の垣根を超えた交流が見られた。イベント終了後も参加者とプレゼンターの活発な交流がみられ、国際交流を促すという役割を果たせ、とても良かったように感じる。

### 気づき(改善点など)

- 準備段階でスムーズに行かなかったことが多かったため、その反省を次回以降の準備に活かしたい。
- 言語サポートについて、すべて日英翻訳すると冗長に感じたので、その場の雰囲気でフレキシブルに対応できたらいいかと思った。
- マイクを複数接続する際、ノイズが多く、切り替えが大変であった。
- 知り合いで一つのテーブルに固まってしまう事例が見られたため、今後はなるべく分散しできるよう工夫していきたい。

### ポスター(日英)



当日の様子



登壇者と参加者の全体集合写真



プレゼン中の様子

#### 4. メンバー構成と心がけていること

- 修士2年生  
尹道鉉(情報学研究科)

国際交流・気安い雰囲気・アカデミックの3つのキーワードに焦点を当てて、より良いイベントを開催することに心がけております。多国籍・異分野との触れ合いが同時にできるため、スタッフとして関わってきた2年間、コミュニケーション能力や学術的な能力が向上できたと思います。卒業後にも、発表者として参加するなど、引き続きプレゼンテーションアワーの活動に貢献したいと考えています。

- 学部3年生  
坪内秀人(理学部)

文化的背景の違う人が意見を交換し合い、それを通して交流を深めるというとても素敵なイベントに惹かれ、運営に参加させていただいております。運営スタッフでは、国際交流イベントを作るという大変貴重な経験を通してたくさんのこと学ばせていただいてます。私が国際交流に興味をもつききっかけを与えてくれたこのイベントをより多くの人に楽しんでもらうために来年度も頑張っていきたいと思います。

- 学部2年生  
関口心愛(理学部)

プレゼンテーションの多様性を尊重する姿勢がこの団体の大きな魅力であり、それこそが奇想天外で常識破りな発表や疑問と、学術発表のように肩肘張らず他分野同士でも臆せず語り合える寛容で活発な雰囲気を生む要因だと思います。この方向性を継承し、通常得られない好奇心に満ちた新たな知見をこれからも発掘出来るよう邁進したいです。